

# 小学校社会 第4～6学年

各学年共通した課題		資料を活用し、社会的事象の特色や意味などを考え表現すること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	④の[4]⑱	○ 3Rについての思考・判断・表現	44.9
5	②の[5]⑧	○ 日本各地の気候のちがいについての思考・判断・表現	25.1
6	⑦の[1]⑱	○ 平安時代の文化の特色について思考・判断・表現	55.1
— 復習のポイント — 小学校第4～6学年の皆さんへ			
<p><b>◎問題解決的な学習の中で、複数の資料等を関連付けて読み取ることを重視しましょう。</b>  資料の活用については、第3、4学年では、地域における社会的事象を観察、調査すること、第5、6学年では、社会的事象を具体的に調査することを学習します。また、各種の資料についても、第3、4学年では、地図(絵地図を含む)や各種の具体的資料、第5学年では、地図や地球儀、統計、第6学年ではそれらに年表を加えて、各種の基礎的資料を効果的に活用することができるよう求められています。学年に応じて、様々な資料を丁寧に読み取ることが大切ですので、日々の問題解決的な学習の中において、特に複数の資料等を関連付けながら読み取ることを重視していきましょう。</p> <p><b>◎「問い」に対し、「理由」を明確にして、社会的事象の意味を説明しましょう。</b>  問題解決的な学習の中での「問い」の重要性を意識して、常に社会的事象の意味などを考えていきましょう。また、特色や意味を説明する場面では「なぜ、そう考えたのか」、「根拠」だけでなく、「理由」をしっかりと説明できるようにしていきましょう。小学校では、「事実をしっかりと見て意味を考える」学習を繰り返し行っていくことが大切です。</p>			